

2018年度 事業報告書

I. 事業状況

財団設立後、3年目を迎え、今期は環境事業及び2項目の文化事業と6項目の助成事業活動を行い、日本及びドイツ両国の学術及び文化交流を深化させた。

また、賛助会員向けに会員研修旅行を行った。

以下に事業活動の概要を報告する。

1. 事業活動の概要

【環境事業】

(1) 「山岡記念財団 第3回 科学技術講演会」

- 1) 開催日時 : 2019年3月27日(水) 14:00~17:00
- 2) 会場 : 京都大学国際科学イノベーション棟
- 3) テーマ : 持続的な社会を目指すために~日本とドイツ
~再生可能エネルギーのスマート活用~
- 4) 講演者 : 中岩 勝 工学博士
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所 所長
ヨハン・ザートホフ氏
ドイツ連邦議会議員
ドイツ社会民主党 (SPD) 行政官

5) 総合討論

- パネリスト : 手塚哲央 教授
京都大学大学院エネルギー科学研究科
エネルギー社会環境科学専攻
田口 彰氏
株式会社タクマ
エンジニアリング統轄本部
執行役員 技術センター長

- 5) 参加者 : 163名
- 6) 後援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
一般社団法人大阪日独協会、ヤンマー株式会社
- 協賛 : 京都大学 大学院エネルギー科学研究科
- 7) 実施内容 : 現在、地球規模で問題になっている「温暖化現象」と「エネルギー問題」に関連して、国際社会の安定的な繁栄をどのようにすれば得ることができるのかを持続可能な社会の形成に

向けて、日本側からは中岩勝工学博士が「再生可能エネルギーと生きる－FUKUSHIMA から未来へ」をテーマに、この分野で先進しているドイツ側からはヨハン・ザートホフドイツ連邦議会議員が「ドイツのエネルギー転換－課題への挑戦」をテーマに講演会が行われた。また、講演後にはパネリストの手塚哲央教授と田口彰氏が加わり総合討論が行われた。

【文化事業】

(1)「山岡記念財団 第1回 中高校吹奏楽公開レッスン&コンサート」(長浜市)

- 1) 開催日時 : 2018年9月22日(土) 13:00～
- 2) 場 所 : 浅井文化ホール
- 3) テーマ : ドイツ音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう!
- 4) 出演者 :

指揮者 大植英次
長浜市立西中学校吹奏楽部
長浜市立東中学校吹奏楽部
長浜市立高月中学校吹奏楽部
長浜市立浅井中学校吹奏楽部
滋賀県立虎姫高等学校吹奏楽部
滋賀県立長浜北高等学校吹奏楽部

(協力)

関西フィルハーモニー管弦楽団メンバー
エウフォニカ管弦楽団メンバー
Osaka Shion Wind Orchestraメンバー

- 5) 演奏曲 : 第1部 中学校合同の吹奏楽部レッスンコンサート
エルザの大聖堂への行進

— リヒャルト・ワグナー

第2部 高等学校合同の吹奏楽部レッスンコンサート
ニュルンベルクのマイスタージンガー

— リヒャルト・ワグナー

- 6) 入場者数 : 419名
- 7) 共 催 : 長浜市・長浜市教育委員会
後 援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
一般社団法人大阪日独協会、
株式会社しがぎん経済文化センター、ヤンマー株式会社
- 8) 実施内容 : ドイツから世界的指揮者であり、ハノーファー音楽大学の教授でもある大植英次氏を迎え、クラシックに造詣の深い

朝日放送ラジオアナウンサーである堀江政生氏の進行で、ドイツの有名な作曲家リヒャルト・ワーグナーの曲から、中学生には、楽劇「ローエングリン」よりエルザの大聖堂への行進、高校生には、楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲の45分間ずつのレッスンを行った後、集大成として通しのコンサートを行った。コンサートでは、それぞれのパートに付き指導頂いたプロの演奏家からの技術的指導と大植氏の曲の内容と表現力についての教授により、豊かな美しい旋律が表現され、素晴らしい演奏となった。

(2)「山岡記念財団 第2回 中高校吹奏楽公開レッスン&コンサート」(尼崎市)

- 1) 開催日時 : 2018年9月24日(月・祝) 14:00~
- 2) 場 所 : あましんアルカイクホール
- 3) テーマ : ドイツ音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう!
- 4) 出演者 : 指揮者 大植英次

尼崎市立常陽中学校吹奏楽部
尼崎市立園田東中学校吹奏楽部
尼崎市立中央中学校吹奏楽部
尼崎市立武庫東中学校吹奏楽部
尼崎市立尼崎双星高等学校吹奏楽部

(協力)

大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー
関西フィルハーモニー管弦楽団メンバー

- 5) 演奏曲 : 第1部 中学校合同の吹奏楽部レッスンコンサート
大学祝典序曲
— ヨハネス・ブラームス
第2部 尼崎双星高等学校吹奏楽部レッスンコンサート
タンホイザー序曲
— リヒャルト・ワグナー

- 6) 入場者数 : 1,100名
- 7) 共 催 : 公益財団法人 尼崎市文化振興財団
後 援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
兵庫県吹奏楽連盟、尼崎市吹奏楽連盟、
一般社団法人大阪日独協会、ヤンマー株式会社
- 8) 実施内容 : ドイツから世界的指揮者であり、ハノーファー音楽大学の

教授でもある大植英次氏を迎え、クラシックに造詣の深い朝日放送ラジオアナウンサーである堀江政生氏の司会進行でドイツの代表的な作曲家であるヨハネス・ブラームスの曲の中から、中学生には、「大学祝典序曲」、高校生には、リヒャルト・ワーグナーの「タンホイザー序曲」の45分間ずつのレッスンを行った後、集大成として通しのコンサートを行った。コンサートでは、作者が曲に込めた想いを表現すべく幅広い音色の演奏となり、また、プロの演奏家から学んだ奏法を習得し、観客を魅了する演奏となった。

- (3) 「山岡記念財団 日独の若者文化・ライフスタイルの研究事業」
第3回 若者文化シンポジウム —研究助成成果発表会—
- 1) 開催日時 : 2019年3月19日(火) 14:00~17:00
- 2) 場 所 : 京都大学楽友会館
- 3) テーマ : 日本とドイツのメディアカルチャー
- 4) 研究者 : ・ビヨーン=オーレ・カム氏(京都大学文学研究科講師)
研究テーマ:「日独間アナログ・ゲーミング非対称フロー」
・高岡智子氏(龍谷大学社会学部講師)
研究テーマ:「ポップス教育大国、DDRを解剖する!」
・ルイーゼ・シュトルテンベルク氏
(ハンブルク大学社会学研究科博士課程)
研究テーマ:「日本とドイツにおける世界的なホスピタリティ・ネットワーク AirbnbとCouchsurfing」
・梅田拓也氏(東京大学学際情報学府博士課程)
研究テーマ:「ドイツのメディア論とメディアアート」
- コメンテーター: 川本彩花氏(博士:人間・環境学)
佐藤 理氏(関西学院大学社会学部)
中村徳仁氏(京都大学大学院 人間・環境学研究科)
中谷勇哉氏(京都大学大学院 人間・環境学研究科)
- 司会者 : 田野大輔氏(甲南大学文学部教授)
吉田 純氏(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)
- 5) 参加者 : 41名
- 6) 後 援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
一般社団法人大阪日独協会、ヤンマー株式会社
- 共 催 : 京都大学大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部
- 7) 実施内容: 2018年度の「日独の若者文化・ライフスタイル」の研究

助成を受けた上記の研究者4名がそれぞれのテーマで、諮問委員である田野教授と吉田教授の司会進行により、内容の濃い研究発表を行い、コメンテーターとの間で質疑応答が行われた。総合討論では、参加者からいただいたコメントペーパーの質問を中心に研究者とコメンテーターとの間で活発な議論が展開された。

●次年度研究助成の公募と選考

2019年度の日独の研究者による若者文化・ライフスタイルの研究調査の助成のため、研究テーマの公募を行い、当財団の諮問委員により選考が行われた。結果、5件の助成研究テーマが選ばれた。

- 1) 公 募 : 2018年10月～2019年2月末 日独応募者
- 2) 選 考 : 2019年3月15日
- 3) 研究助成:
 - ①「ドイツを経験した日本の若者のマンガとアニメへの影響」
採択 ティモ・テーレン (金沢大学 国際学部講師)
 - ②「国境を越えたビデオゲーム:ドイツと日本のプレイヤー
経験の違いを探る」
ステファン・ブリュックナー
(慶応義塾大学大学院 メディア研究科
研究助手/博士課程)
 - ③「ドイツ在住日本人芸術家のキャリア形成に関する
比較研究」
高橋かおり (立教大学社会情報教育センター助教)
 - ④「日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と
社会運動」
富永京子 (立命館大学産業社会学部准教授)
 - ⑤「日本のマンガにおける前近代ドイツ表象と新しい中世」
林祐一郎 (京都大学大学院文学研究科 修士課程)

【助成事業】

- ・前年度に助成を行った大阪ドイツ文化センターに加え、本年度は、当財団の支援を希望された下記の機関、事業に協賛、支援を行った。

協賛、支援事業は以下の通り。

(1) 大阪ドイツ文化センター

事業名: ドイツ・アジア共同制作ダンス作品「ストレンジャーズ」

2018年国際児童青少年演劇フェスティバルおきなわ

りっかりっかフェスタ滞在制作&公演

会 場：沖縄/那覇市ひめゆりピースホール、韓国/ソウル、台湾/高雄等

期 間：（製作）2018年6月25（月）～7月21日（土）

（公演）那覇市 2018年7月22日（日）～7月24日（火）

来場者数：205名（3日間）

ソウル 2018年7月26日（木）～7月30日（月）

高 雄 2018年8月 1日（水）～8月 3日（金）

(2) 沖縄ドイツ協会

事業名：ドイツ文化・芸術交流プロジェクト2018 in OKINAWA

「Rheinbilder ～ライン川 音の絵本～」公演

会 場：宜野座村文化センター がらまんホール

公演期間：2018年7月21日（土）～7月22日（日）

来場者数：499名（2日間）

(3) ベルリン日独センター

事業名：日独ヤングリーダーズフォーラム

テーマ：「日本とドイツにおける交通運輸およびモビリティ」

開催場所：ポツダムおよびベルリン

開催期間：2018年8月31日（金）～9月9日（日）

出席者： 日本側 8名、ドイツ側 8名

(4) 神戸ドイツ学院

事業名：ヤンマーGHP寄贈

寄贈式：2018年9月27日（木）

(5) 尼崎市役所

事業名：尼崎市・アウグスブルク市とのアーティスト交流
イベント開催 「Lab30」

開催場所：アウグスブルク市 カルチャーハウス abraxas

開催期間：2018年10月25日（木）～10月28日（日）

(6) フェスティバルホール

事業名：フェスティバルホール協賛事業

フランクフルト放送交響楽団演奏会（2018.6.13開催）

チケット購入

配布先：2017年度開催の大植英次公開レッスン&コンサートの出演
高校生及び賛助会員に配布

【賛助会員向け事業】

(1) 山岡記念財団 会員ドイツ研修旅行

山岡孫吉翁のドイツとの係わりのルーツ、ドイツの先進企業、観光地訪問をメニューとし、2018年9月1日(土)～9月9日(日)の期間で研修旅行を実施し、13名の参加者があった。

(2) 山岡記念財団 賛助会員年次総会

2018年6月1日(金)に賛助会員年次総会を開催し、2017年度の事業報告及び2018年度の事業計画の説明を行った。

2. その他活動

(1) インターンシップ生受け入れ

当財団の諮問委員である岡本幸治氏からの紹介を受け、受け入れたドイツのインターンシップ生にヤンマー株式会社で2018年11月～2019年1月まで仕事の経験をして頂いた。

(2) 賛助会員募集

2016年12月から募った賛助会員は、2019年3月現在、法人164社、個人35名の計199会員となった。